

様 式 F - 7 - 1

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 27 年度）

1. 機関番号 

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学

3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成 26 年度～平成 28 年度

5. 課題番号 

2	6	7	8	0	2	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 少年犯罪の社会問題化とその収束に関する社会学的研究

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 5 0 8 2 4 4	マキノ トモカズ 牧野 智和	人間関係学部	講師

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

## 9. 研究実績の概要

本年度（二年目）は、神戸・連続児童殺傷事件の活字メディア分析に引き続き取り組み、年度末に論文として刊行された。論文には、一年目における二つの研究計画、すなわち「新聞メディアにおける「ニュース・フレーム」の形成過程と相互影響性」「雑誌メディアにおける「ニュース・フレーム」の形成過程と相互影響性」の二計画に関して、前者については前年度に調査した全国紙に加え、神戸の地元紙『神戸新聞』を新たに追加して全国紙・地方紙間の紙面構成の比較を行った。後者については、新聞紙面構成の比較結果を踏まえてやはり比較を行った。本年度における当初課題であった「少年犯罪報道の2000年代、2010年代の活字メディア分析」についても、論文冒頭に調査結果を繰り込み、当初の計画を達成することができた。

併せて、アウトリーチ的な活動として、ウェブ媒体『現代ビジネス』（講談社）において、本研究の成果の一部を一般向けに提供する小連載を行った。三回の連載内容は、少年犯罪報道の戦後史、神戸・連続児童殺傷事件の再分析、犯罪報道の国際比較であり、それぞれ四万～八万ページビューを稼いだことから、一定の成果をあげたといえる。